

原子力防災・安全等特別委員会活動実績等について
(令和4年12月～令和5年11月)

1 設置年月日

令和4年12月16日

2 設置目的

関西電力高浜発電所等に係る原子力防災及び安全性についての調査研究及び審査

3 委員会の開催

No.	日時	議題
1	令和4年12月16日(金)	(1) 委員長の互選について 委員長に眞下隆史委員を選出 (2) 副委員長の互選について 副委員長に尾関善之委員を選出
2	令和5年1月17日(火)	・ 本年の活動計画について 1年間の活動計画を決定
3	令和5年5月29日(月)	・ 高浜発電所の状況について(参考人招致)
4	令和5年11月14日(火)	(1) 1年間の活動実績等について (2) 今後の委員会の在り方について (3) 京都府原子力総合防災訓練について

4 委員会活動計画に係る取組

(1) 参考人招致

- ・ 高浜発電所1・2号機の再稼働が現実化された場合、それぞれの機関から、これまでの経緯や、特段の配慮がある自治体と認められる舞鶴市に対する対応等の確認を行う。
→ 関西電力株式会社から参考人を招致し、高浜発電所の状況について説明を受けた。

(2) 現地視察

- ① 舞鶴市地域防災計画(原子力災害対策編)に基づき、住民受入れ自治体との連携状況や、避難後の生活形態についてなど、市の取組状況を確認する。
→ 勉強会[令和5年8月29日開催]等を通じて状況は確認したが、現地視察には至らなかった。
- ② 高浜発電所に関して特に確認すべき事項があれば現地視察を実施する。
→ 参考人招致等を通じて状況を確認しており、現地を確認すべき事項は特になかった。

③ 舞鶴市及び京都府主催原子力総合避難訓練が実施されれば、委員会として参加する。

→ 京都府原子力総合防災訓練〔令和5年11月26日開催〕に委員会として参加し、住民役（避難時要支援者役を含む）となって避難の流れなどを確認するとともに、職員の体制や動きなども確認し、その所感等を委員間で共有した。

④ 住民避難のインフラ整備状況の現地視察を実施する。

→ 現地を確認すべき整備状況は特になかった。

(3) 勉強会等

① 高浜発電所1・2号機の再稼働・特重施設の現状確認。

② 60年超えの運転に関する情報収集。

→ 関西電力からの参考人招致などにより現状等を確認した。

③ 廃炉に関する計画内容の確認と、廃炉工事の現状確認。

→ 大きな動きはなく、注視にとどまった。

④ コロナ禍における舞鶴市原子力災害住民避難計画の検証。

⑤ 避難先自治体の受入れ態勢に関する市民への周知の検討。

→ 勉強会〔令和5年8月29日開催〕等を通じて現状を確認したが、今後の取組の検討には至らなかった。

5 前期からの申し送り事項とその対応

- ・ 関西電力高浜発電所等に係る原子力防災及び安全性については、市民の安心・安全にとって重要な事項であることから、引き続き注視していくことが必要であり、あわせて、調査研究を進められたい。
→ 本委員会を設置し、注視や調査研究に努めている。

6 来年への申し送り事項

- (1) 舞鶴市原子力災害住民避難計画について、実効性を高めるための検証や調査を行われたい。
- (2) 広域避難時の避難先自治体の受入れ態勢など、実際の災害時に、避難先でどのような対応となるのかを市民に周知することを検討されたい。
- (3) 原子力災害に関する訓練に委員会として参加し、避難行動や誘導・運営などについて確認・検証されたい。

委員名簿（7人）

委員長	眞下 隆史	新政クラブ議員団
副委員長	尾関 善之	自民党鶴政クラブ議員団
委員	川口 孝文	自民党鶴政クラブ議員団
委員	小西 洋一	日本共産党議員団
委員	田畑 篤子	新政クラブ議員団
委員	廣瀬 昇	市民クラブ舞鶴議員団
委員	松田 弘幸	公明党議員団